

日本ペルー中小企業フォーラム 概要報告

1. 開催期日：2010年4月14日（水）9：00～14：00
2. 開催場所：ホテル・ロス・デルフィネス（リマ）
3. 出席者：両国参加者総勢約150名
4. 言語：日西同時通訳
5. 総括的概要：

昨年11月に開催されたガルシア大統領と鳩山首相との日本・ペルー首脳会談で、大統領より中小企業分野での両国間の協力を強化したいと意向が表明され、鳩山首相がこれに賛意を示した。当委員会では、第9回日本ペルー経済協議会をリマで開催する機会をとらえ、中小企業の育成・支援に焦点をあてたフォーラムを開催することとした。本フォーラムでは、主にペ



会場の様子

ルーの中小企業育成・支援に係る政府・経済団体および中小企業経営者の参加を得て、中小企業の育成・支援の重要性について、熱心な討議が行われた。特に、ペルー中小企業の発展は、ペルーの産業構造の多様化や貧困の撲滅にも資するものであり、両国の中小企業育成・支援制度、支援機関の活動事例、パネルディスカッション形式での意見交換により、参加者の中小企業育成・支援に対する意識を高めることができた。また、同時に日商が主催して11月11日に開催されるAPEC中小企業サミットの周知と同サミットへの招致活動の一環とした。参加者からは今回フォーラムが有意義であることから継続開催を希望する声が多く、当初の予想を超える成果となった。

(1) 開会式

宮村眞平委員長から、本フォーラムがペルーの中小企業発展の一助になれば幸いである旨の開催挨拶があった。続いて目賀田駐ペルー大使から、本フォーラム開催にあたっての両国委員会の尽力に対して謝辞が述べられ、本フォーラムの成功を期待する旨の挨拶が述べられた。

(2) 基調スピーチ

新美潤経済産業省審議官（森元同省中南米室係長代読）が日本の中小企業の重要性を強調しつつ、現状、世界金融危機の影響により厳しい環境下にある中小企業への対策として日本政府は、金融支援、法人税率軽減、人材育成支援、研究開発支援等を行っていることを述べた。ホセ・チコマ中小企業担当副大臣からは、ペルー中小企業の実態と政策について説明があった。

(3) 日本の中小企業育成・支援の事例紹介

東京商工会議所を代表して、弘報社の会田ミヨ子専務より新たな中小企業支援の方向性について紹介があり、国際連合開発機関（UNIDO）東京事務所の壽（としなが）郁恵工業開発官から農業、環境分野での中小企業支援として日本の技術紹介、技術移転などUNIDOの活動事例を紹介した。



チコマ副大臣

(4) パネルディスカッション「中小企業育成・支援における両国協力の推進」

柳田武三 JETRO 理事が冒頭モデレータとして日本の中小企業の育成を後押しする政策事例を紹介した上で、本セッションではペルーの中小企業の発展に焦点を当て、日本とペルー両国がどのような協力ができるかについて意見交換をしたいと述べた。続いて、前述の壽郁恵氏、中田智洋サラダコスモ社長、フェルナンド・ヴィアロン SASE Consultores SAC 代表、ロマン・ミウ・ペルー工業協会中小企業委員会委員長、アンヘル・ネイラ全国小零細企業開発協会代表、ファン・パチェコ・ペルー輸出者協会 (ADEX) 中小企業委員長、ガリー・ウルテアガ Empresabio.com 共同設立パートナーからプレゼンテーションが行われ、その後、パネルディスカッションが行われた。会場からも 2 名が意見を述べた。最後にモデレータが現在交渉中の EPA には中小企業育成に向けた官民合同会議の設置も含まれており、EPA の早期締結を強く期待すると述べた。



パネルディスカッション
モデレータ柳田氏(左端)とパネリスト(左 2 人目から文中紹介順)

(5) APEC 中小企業サミット 2010 (横浜) の紹介

日商の小野明国際部長から、フォーラムに参加したペルー側出席者に対して日商が本年 11 月 11 日に開催する APEC 中小企業サミットを紹介するとともに同サミットへの参加を訴えた。

(6) 閉会

ベガ・ペルー日本経済委員会委員長から今回フォーラムが有意義であった旨の閉会挨拶が述べられ、フォーラムを終了した。

(7) その他

①記者会見

フォーラム終了後に前日の第 9 回日本ペルー経済協議会の成果を含め、記者会見が行われた。

②日本側委員会主催昼食会

フォーラムの後、日本側委員会主催の昼食会(着席スタイル)が同ホテルの 3 階テラスで開催され、両国参加者の交流が行われた。



昼食会の様子

以上